

## 【小施策評価(令和元年度実績評価)】

### 小施策の総合計画における位置付け

基本目標	4	人が集い活力を生むまちづくり	小施策主管課等	観光課
施策	24	観光の振興	評価責任者	曾根田 雅彦 内線 3720
小施策	24-2	観光地域づくりと滞在型観光の推進	評価シート作成者	杉田 博信 内線 3721

### 小施策の概要

現状と課題(総合計画実施計画から転記)	取組の方向性(総合計画実施計画から転記)
北海道新幹線や宮古・室蘭フェリーの開業などにより、観光交流の一層の活発化が期待される中、本市を訪れる多くの観光客に満足してもらえるよう、特産品や歴史文化などの地域資源を生かした観光地域づくりとともに、世界遺産の「平泉の文化遺産」や「釜石・橋野鉄鉱山」、十和田八幡平国立公園、三陸復興国立公園など、県内・広域の観光資源と連携した観光宣伝や滞在型・周遊型観光への取組を推進する必要がある。	北東北の交通の結節点としての優位性を生かすとともに、盛岡の歴史、文化、先人、まち並みなど、地域資源を最大限に活用した観光地域づくりやおもてなしの向上を進めるほか、まちなか観光の充実やMICE(マイス)誘致、広域連携による滞在型・周遊型観光など、盛岡ファンづくりに向けた取組を推進する。
対象(誰(何)を対象として行うのか)	意図(具体的に対象をどのような状態にしたいのか／対象＋成功状態)
国内外の人	多くの人が、盛岡の魅力を知る。盛岡を訪れる。

### 小施策の成果指標の達成状況・評価(令和元年度実績)

実績値の推移				実績の評価				評価を踏まえた取組の方向性	
指標①宿泊観光客数		単位	目指す方向	成 果 点		成 果 の 要因分析			
当初値(H25)	R1目標値	万人泊	↗	万人泊	↗	万人泊	↗		
98	110			107		120			
140 130 120 110 100 90 80 70 60 50 40	R1目標値	100 90 80 70 60 50 40	↗	98 96 98 93 99 107	↗	100 110 120 130 140	↗		
当初 H27 H28 H29 H30 R1 R2 R3 R4 R5 R6									
指標②コンベンション開催支援件数				成 果 点				★ R2年度着手済または着手予定 ☆ R3年度以降の着手を検討	
指標②コンベンション開催支援件数		単位	目指す方向	成 果 点		成 果 の 要因分析			
当初値(H25)	R1目標値	件	↗	件	↗	件	↗		
101	140			150		150			
180 160 140 120 100 80 60 40	R1目標値	100 80 60 40	↗	101 102 84 95 75 87	↗	100 120 140 160 180	↗		
当初 H27 H28 H29 H30 R1 R2 R3 R4 R5 R6									

### 今後の方向性(令和2年度以降)

評価を踏まえた取組の方向性
★個人旅行客を含めた、つなぎ温泉地域への誘客促進を図るために、独自の魅力向上に向けた取組を推進とともに、新型コロナウイルス感染症の影響により宿泊施設をはじめとする観光事業者への経済的な影響が大きいことから、観光基盤となる事業者への支援や国内旅行客向けの誘客促進につながる事業を優先して実施する必要がある。
☆1 国内外からの観光客の更なる誘客促進に向けて、入込数の多い台湾や中国をターゲットにした海外、首都圏における国内でのプロモーションによる宣伝誘客の取組を推進する。
★選ばれる都市として関係団体や民間事業者等と連携して誘致促進を推進していく。
★都市の魅力や利便性をPRする宣伝誘致の取組を推進していく。